



御挨拶

会長 高田 菊平

会員の皆様におかれましては、益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

おかげ様で、当同窓会活動も会員の皆様方の御協力により今日をむかえておりますこと、まずもって御礼申し上げます。

昨年、母校においては11年の間学校長であられました北岡先生が退職され、教頭でありました葉袋先生が新校長として、9月に着任されました。北岡先生には同窓会の顧問として尚御指導をいただくことになっております。学校長としての在籍中におけます功績は今さら申し上げるまでもなく、母校の30余年の歴史において、変化の激しい時代の10年間にその基礎のかためをしていただいたことであり、また、同窓会に対しまして深い御理解とご支援をいただきました。ささやかですが、昨年の総会において同窓会より御礼と記念品を贈呈しましたことを皆様方に報告させていただきます。

また新校長になられました葉袋先生も、前校長の片腕として長くその責務をはたされてこられ、今回新校長として今までの経験の上にさらに新しい境地を開かれていかれるものと思います。また、同窓会に対しましても顧問という立場で我々を強く御指導賜ります様お願いいたします。

昨年は、世界的にみましても、天変地異の多い一年でありました。国際的にはソ連邦の崩壊やら、湾岸戦争のぼっ発、フィリピンのピナツボ火山の噴火、異常気象の現れ等々、歴史的にも多くのページをのこした一年でありました。また、国内的にも政権の交替、バブル景気の崩壊、台風の被害、長崎の普賢岳の噴火等々、この数年続いた平穏な世の中からまた、一転して変化の激しい世の中に変わってきました。

このように私達をとりまく環境は常に大きく変動し、それにいつもどう対応していくかを考えて行動しなくてはなりません。常々申し上げておりますように、それらに対応する一つの方法として、情報の収集が大きなカギをにぎっているといってもよいと思います。

幸せなことに我々同窓会は大変多くの会員をかかえており、その多くの人達が今第一線として活躍されておられるわけでありますから、その交流を通じてより有益な交わりをうることができるのではないのでしょうか。

どうか自らの周囲におります同窓会の方々との接触の機会をできるだけ多くもっていただき、情報交換の場としての同窓会の活用もしていただけたらと思っております。

今後の会員の皆様方のご健勝を祈念してご挨拶といたします。

(平成 4 年 1 月 20 日)

第 1 期生・ニューデルタ工業株式会社社長

(三島市梅名)

春に集う
全校集会





ご挨拶

校長 薬袋 邦明

昨年9月1日付をもって、前校長北岡功先生の後を受けつぐことになりました。私としては、身にあまる光栄であり、その責任の重さに身のひきしまる思いです。

世界はときあたかも21世紀を目前にひかえ、だれも予期し得なかったような大変貌を遂げつゝある昨今です。教育界も新課程の実施等大きな転換期に直面しております。その一つの面は21世紀を背負っていく今の生徒達に、我々は何を託し、どのように教育していくか。もう一つの面は、現在私どもの学校がかゝえている足元の諸問題をどのようにとらえ、その克服を図っていくかです。この「未来」と「現実」、学校の内と外との十字路口にたつて、教育の転換を図っていかねばならないと思うのです。

本年卒業する32期生は1,000名ですが、卒業生名簿によりますと、この32期生を加えますと同窓生は35,008名の大勢力になります。この同窓生が、地域・分野を問わず様々な領域で活躍されておりますが、年齢的にみますと、丁度来るべき21世紀をつくっていく人達だといっても過言ではありません。

10年足らずといっても、21世紀がどんな時代になっているか予測は極めてむずかしく、我々凡人にはわかりませんが、いろいろの危機にさらされる一番怖い世紀であるともいわれています。とくに人間のあり方といった面の変化になると、つかみよのない霧の中にあるように思われます。しかし、どんな時代に進歩しようと、人間性の心のつながりや思いやりを更に大切に、人間性を失わない社会にしなければならないと思うのです。

どうか同窓生の皆様も連帯感をもち、その結束力を一つのパワーにして21世紀を頑張ってもらいたいと思います。皆様のご活躍とご健勝を祈念してご挨拶といたします。

新入会員を迎える

歓迎の言葉

副幹事長

藤幡 俊量

皆様、ご卒業おめでとうございます。毎年この時期になると、ああ一年のたつのが早いなあというのが、私の決まり文句になっています。

皆様はどうだったでしょうか？日本大学三島高等学校に入学されアツと云う間の三年間だったのではないのでしょうか。老若を問わず、年末やこの卒業の時期になると、実際の時間は殆ど変わっていないのに、一年は短いなと思います。変なものですね。

しかし、感覚は物凄くスピード化されていると思います。昔の10年は、今では5年位になっているのではないのでしょうか。特に私の商売上で少し関連があるコンピュータなどは、目まぐるしく進化していて、次から次へと新機種が出てきます。余り早く飛び付くと早いものでは半年～1・2年のうちに陳腐化しています。

一方で人の寿命は延びています。100年位前までは、

人生50年などといわれていたものですが、今やその1.5倍を超えています。それだけ人生への滞留時間が多くなったのですから、おのずから生き方も変わってくるのではないのでしょうか。

おかしなもので、人生が永くなったのですから、物事はゆっくりやれて良いと思われるのに、現実にはむしろその逆で、何かゆとりにかける面が多くある様です。

皆様も卒業され、職場へ大学へ、はたまた浪人生活へ、道はそれぞれ違っていても、前進すると云うのは、全員同じだと思います。それぞれが10年与えられたとしましょう。あと10年しかないと考えるのか、まだ10年もあると考えるのか、この違いにより、かなり人生観が変わってくるのではないのでしょうか。

今後の一步の踏出しが、明日の君達を決めるのです。昨日の事は、もうよいではありませんか。毎日毎日今を見つめ、明日に向かって前進あるのみです。私は常に心がけている事があります。それは、全ての事に対して自分は、プラス志向で行こうと云う事です。皆様もマイナス要因は捨ててぜひプラスだけで、これらの生活をしてみて下さい。ぜひ頑張ってください。

クラス幹事

- | | |
|-------------|-------------|
| 1組 宇田川 諭 | 15組 小 出 麻衣子 |
| 2組 宮 坂 哲 也 | 16組 石 和 真紀子 |
| 3組 勝 又 淳 | 17組 田 京 美 保 |
| 4組 太 田 二三健 | 18組 平 澤 雅 子 |
| 5組 八 木 浩 幸 | 19組 松 原 由 紀 |
| 6組 大 矢 卓 | 20組 山 田 しのぶ |
| 7組 村 上 和 也 | 21組 清 水 宏 美 |
| 8組 鳥 居 延 行 | 22組 金 原 朱 里 |
| 9組 川 島 康 徳 | |
| 10組 飯 田 智 | |
| 11組 竹 下 順 司 | |
| 12組 斉 藤 宏 文 | |
| 13組 村 田 弘 海 | |
| 14組 西 島 義 和 | |



以上の皆さんがクラス幹事として選ばれました。将来、クラス会もひらかれる時があるでしょう。どうか、以上の幹事の皆さんを中心として、母校のこと、クラスの仲間のことを忘れずに、良き人生を歩んでください。

各支部長一覽

支部名	氏名	住所	T E L
三島	久保田 光	駿東郡清水町柿田九	(〇五五九)七一一九二二
田方	山田 守宏	田方郡大仁町立花三一二二	(〇五五八)七六一五〇〇二
沼津	今井 信之	沼津市市場町一〇一一	(〇五五九)三一七八七八
御殿場	武藤 康徳	御殿場市新橋一九六七	(〇五五〇)八二二二四八
裾野	勝又 国佳	裾野市深良一五五一	(〇五五九)九七一三九二
富士	西村 雅幸	富士市横割六一二二五	(〇五四四)六一一五二七五
富士宮	秋山 一雅	富士宮市浅間町四一五	(〇五四四)二六一三八四八
清水	久保田 容弘	庵原郡富士川町岩淵七八一三	(〇五四二)八一〇八八八
静岡	松下 悟	島田市横井四一三三	(〇五四二)四五二八三一五
熱海	米倉 久高	熱海市清水町九一二	(〇五五七)八一三〇九三
小田原	川口 功一	小田原市東町四一五二〇	(〇四六五)三四一三五三七

入会にあたり

32期生代表

後藤 美紀



私達、平成3年度卒業生は、3年間の教育課程を全て終了し、はれて第32期生として日大三島高校同窓会に入会させて戴くことになりました。

私達は在学中の間に、日本大学創立100周年、野球部の甲子園出場など、伝統ある日大三島高校の歴史の一端を担えることができたことに誇りを感じます。これもひとえに、先輩の皆様が、日大三島高校に暖かいご支援を送って下さった賜物と思っています。そしてその土台が、今、私達が入会させて戴く同窓会であるということに深い感銘を受けます。

この3年間で、私達はいろいろな事を体験し、習得し

ました。それは、何事にも前向きな姿勢で取り組むことがいかに必要であるかということです。それから、自分の主張がはっきりと言えるようになったのではないかと思います。これらについて今こうして振り返ってみますと、日大三島高校で学べて良かったとしみじみと思います。

私達はこの先、進学、就職とそれぞれ自分で選択した道に進みます。しかし、高校とは違い、どんな場においても、今まで以上の自己に対する責任感が要求されることと思います。私達はそんな中で、高校時代の素晴らしい思い出を励みに、これからの人生を切り開いていきたいと思っています。

日大三島高校での3年間に養われた知識や精神力を生かし、常に広い視野を持ちつつ、日大三島高校の名に恥じぬよう、精一杯頑張っていきたいと思っていますので、先輩の皆様の変わらぬご指導、ご鞭撻を宜しくお願い致します。

母 校 だ よ り

桜 陵 祭

平成3年5月17日～19日
テーマ

「情熱宣言!!
我ら地球人」



ネクタイ姿の校歌



1年 合唱コンクール



2年
仮装パレード

伝 統

3年 農兵節踊り



朝学習 このやる気



希望の像
新しくなって再び校庭に



代々木ゼミナールの先生を招いて
「激戦入試 合格への道」



並木の清掃
——ボランティア活動——



熱弁をふるう親方



文化講演会
作家 北杜夫
平成3年3月

第32期生
同窓会入会式
平成4年2月22日
記念講演会
北陣和春親方
(元関協麒麟児)



北岡 功先生 定年によって退職される

御挨拶

北岡 功



昨秋は、大切な総会のひと駒に、私ごときへの離別の宴まで加えていただき、ありがとうございました。

週二回の大学講義の往き帰りに、

ふと挨拶を受ける在校生の静かなたたずまいに、ときには銀杏並木のフェンス越しに聞えて来る部活の無心な声に、世辞でなく、現、薬袋校長下の順調な指導体制が充分に伺え、欣んでいる所でございます。同窓の皆さん、ご安心ください。四年ほど前に設置された特進コースの効果が、もう昨年ごろから顕われ、先ゆきが楽しい所でございます。文にしろ武にしろ、迎え入れたそれぞれの素材が、毀れることなく、いやそれ以上の作品となって、窯戸から追ッでてゆく確信を、先生がたは掴まれたのではないのでしょうか。

これからは一人でも多く、そんな素材を掌中に（迎え）入れたいものがございます。何といっても大きいのは、血脈のかわり、皆さんのそれこそ背中越しのご支援—励まし、忠告、叱正、引きあわせ（紹介）、情報の提供……の如何に抱るものがございます。母校はそれを渴望しているはずでございます。

そして、やはり餅屋は餅屋、皆さんのお子様の進路につきましても忌憚なく、遠慮なくそれぞれ母校の恩師に相談をかけられますようお願い申しあげます。次第でございます。

三十二期のかわいい弟・妹たちをよろしく—

同窓の弟妹やからや水ぬるむ

功

同窓会記念講演会の歴史

期 生	実 施 年 月 日	講 師	テ ー マ
14	S 49・4・14	入 江 徳 郎	これからの政治と経済 ニュースキャスター
15	50・2	江 木 武 彦	民主社会と対話 言論科学研究所所長
16	51・2・13	山 谷 新 平	現代を考える 評論家
17	52・2・26	金 井 清	地震の話 日大生産工学部学部長
18	53・2・18	藤 村 郁 雄	富士山の気象 元富士山測候所所長
19	54・2・19	松 平 康 隆	負けてたまるか バレーボール 協会理事
20	55・2・16	江 木 武 彦	話す能力と生きる能力 言論科学研究所所長
21	56・2・16	遠 藤 幸 雄	スポーツを通じて得たもの 日大文理教授
22	57・2・20	尾 関 宗 園	やればできる 京都大仙院住職
23	58・2・19	境 野 勝 悟	日本人の心の源流 教育評論家
24	59・2・18	荒 川 博	雪害(北海道より)の為中止
25	60・2・16	荒 川 博	鍛える 野球評論家
26	61・2・22	古 橋 広之進	記録への挑戦 日大文理学部教授・水連会長
27	62・2・14	張 本 勲	私の歩んできた野球人生 野球評論家
28	63・2・13	室 伏 重 信	可能性への挑戦 中京大学助教授
29	H 1・2・25	田 宮 謙次郎	道は拓ける 野球評論家
30	2・2・24	江 崎 惇 (アツシ)	郷土とわが青春 日本作家協会名誉会員
31	3・2・23	小 谷 実可子	私が魅せられたもの シンクロナイズドスイミング
32	4・2・22	北 陣 和 春	土俵にかけた我が人生 相撲キャスター

部活動だより

文化 部

< 放送 部 >

- 第38回NHK杯全国高等学校放送コンテスト
 - ・テレビ番組課題部門「我ら情熱宣言」
県1位 全国優勝 文部大臣賞
 - ・テレビ番組自由部門「手は忘れない……」
県1位 (全国4位)
 - ・ラジオ番組自由部門「神様!最後のお願い」
県1位 (全国4位)
 - ・研究発表部門「みんなの声を放送に」
県1位 (全国5位)
- 第21回高等学校ラジオ作品コンクール
 - ・番組制作部門「はじめの一步」 優秀賞 (全国2位)
 - ・アナウンス部門 優秀賞 (全国2位)
大塚 百代 (2年)
- 第29回全国高等学校放送コンクール
 - ・ラジオ制作ドラマ・ドキュメントの部
「もっとドラエモン」
優秀賞 (中部9県2位)・奨励賞 (全国4位)
 - ・ラジオ制作朗読部門 最優秀賞 文部大臣賞
服部 恵子 (2年)
 - ・ラジオ制作アナウンス・DJ部門
優秀賞 (中部9県 2位) 伊ヶ崎恵美
 - ・映像制作テレビ部門「今どきの恋愛事情」
優秀賞 (全国2位)
- '91全国ビデオコンテスト
 - テレビ番組部門「手は忘れない……」
優秀賞 (全国2位)

< 美術 部 >

- 第3回全日本高校イラスト展
 - ・優秀高等学校賞 (全国1位)
 - ・ADEL会長賞 (全国5位) 足立 晃栄 (2年)
- 第25回全国高校生ポスター絵画写真映像コンクール
 - 絵画部門 佳作 (全国4位) 菅原 満里 (2年)
- 第74回全国高校野球選手権大会
 - ポスター用原画コンクール
優秀賞 (全国2位) 杉山 康弘 (2年)
- 国土緑化運動育樹運動ポスター原画コンクール
 - 県知事賞 (県1位) 坂井 菜美 (2年)

< 写真 部 >

- 第9回静岡県高校写真コンクール
 - 最優秀賞 (県知事賞) 森島 吉直 (2年)

運 動 部

< 山 岳 部 >

- 静岡県高校総合体育大会 優勝
- 全国高校総合体育大会 最優秀賞

< 水 泳 部 >

- 静岡県高校総合体育大会
 - ・女子総合優勝
 - ・女子400Mリレー・女子400Mメドレーリレー 1位
 - ・男子800Mリレー 1位
 - ・100M・200M自由形 1位 藍川 康二 (3年)
 - ・100M・200M平泳ぎ 1位 岩崎 敬子 (1年)
 - ・100M・200M自由形 1位 深尾 好美 (1年)
- 東海高校総合体育大会
 - ・女子総合3位
 - ・100M・200M自由形 1位 藍川 康二 (3年)
 - ・100M・200M平泳ぎ 1位 岩崎 敬子 (1年)
 - ・100M自由形 1位 深尾 好美 (1年)
 - ・50M自由形 1位 小長井麻由 (2年)
- 全国高校総合体育大会
 - ・男子 3位
 - ・200M自由形 1位 藍川 康二 (3年)
 - ・100M・200M平泳ぎ 1位 岩崎 敬子 (1年)
 - ・100M自由形 4位 深尾 好美 (1年)
- 国民体育大会夏期大会 (静岡県チーム)
 - 400Mメドレーリレーメンバー少年男子A
2位 藍川 康二 (3年)
 - 800Mリレーメンバー少年男子A
3位 藍川 康二 (3年)
 - 400Mメドレーリレーメンバー少年女子B
4位 岩崎 敬子 (1年)
 - ・少年少女B100M平泳ぎ 3位 岩崎 敬子 (1年)

< テ ニ ス 部 >

- 第14回全国選抜高校テニス東海大会
 - 男子 優勝 女子 2位
- 東海高校総合体育大会
 - 男子 優勝 女子 2位
 - ・ダブルス 2位 橋本江里子 (3年)
 - ・シングルス 3位 上野山博哉 (1年)
- 静岡県高校総合体育大会
 - ・シングルス 1位 橋本江里子 (3年)
- 国民体育大会東海大会
 - ・静岡県チームのメンバー 2位 橋本江里子 (3年)
- 国民体育大会
 - ・静岡県チームのメンバー 4位 橋本江里子 (3年)

●全日本ジュニア選抜室内選手権東海大会

1位 望月 悟史 (2年)

全国選抜高等学校選手権大会

テニス・男子・女子

— 男子は4年連続4回目 —

— 女子は6年連続7回目 —

<卓球部>

●国民体育大会県大会

・シングルス 1位 一杉 直 (3年)

●国民体育大会東海大会

・静岡県チームのメンバー
2位 一杉 直 (3年)

<スケート部>

●静岡県高校総合体育大会

・総合優勝 (22連勝)
・500M 1位 小林 奈央 (1年)
・1000M・1500M 1位 鈴木 勇人 (2年)
・10000M 1位 塩谷 宜史 (2年)

●国民体育大会県大会

・500M 1位 白井 剛史 (1年)
・500M (女子) 1位 小林 奈央 (1年)
・1500M 1位 鈴木 勇人 (2年)

●国民体育大会少年の部

・1500M・5000M 8位 鈴木 勇人 (2年)

●全国高校総合体育大会

・1000M 9位 鈴木 勇人 (2年)

平成3年度事業報告

1. 総会 10月19日 田代パレス
 - (1)開会の辞 (2)会長挨拶 (3)母校校長挨拶 (4)議事
イ. 平成2年度事業報告 ロ. 平成2年度決算報告
ハ. 役員改選 ニ. 平成3年度事業計画 ホ. 予算案
 - (5)閉会の辞
懇親会 (1)開会 (2)来賓挨拶 (3)記念品贈呈 (4)乾杯
(5)懇親 (6)校歌斉唱 (7)閉会
2. 幹事会
 - (1)10月9日 田代パレス
・総会の件 (名簿改訂準備)
 - (2)1月31日 田代パレス
・第32期生同窓会入会式の件・表彰の件
・記念講演会の件・会報の件
3. 事業
 - (1)2月22日 母校8号館
イ. 第32期生同窓会入会式
ロ. 表彰 藍川康二 (水泳部)、山岳部、放送部
ハ. 記念講演会
講師 北陣和春親方 (元関脇麒麟児)
テーマ 「土俵にかけた我が人生」
 - (2)3月2日 同窓会会報第21号発行
4. 支部
 - ・熱海 7月25日 後楽園 (ボーリング大会)
5. その他
 - ・事務局会2回 桜樹会 (熱海市役所 44名)
1月19日・20日 長岡狩野川荘 3月21、22日スキー

藍川康二君(水泳部)・放送部・山岳部に同窓会より奨励金がおくられる

同窓会は、表彰規定にもとづき、藍川康二君・山岳部・放送部に対して、奨励金 (10万円ずつ) をおくることになりました。自己り進歩はもちろんのこと、母校のためにも大いに活躍されるよう願っています。



藍川康二君 (水泳部)



山岳部
最優秀賞のメンバー
左から
秋山慎太郎君
海野真弘君
諏訪健君
高橋淳君



放送部
文部大臣賞のメンバー
小出博隆君
大塚博之君
安原智子さん
三宅亜紀子さん
杉本諭美さん

白井将一先生（数学科）・山崎泰助先生（社会科） 定年によって退職される

恩師白井将一先生は、平成3年8月7日付をもって、また山崎泰助先生は、平成3年8月29日付をもって、それぞれ退職されました。

白井先生は、昭和33年4月から母校に奉職され、母校第1期生とともに歩んでこられました。その間工業科に14年、普通科に19年4か月の長きにわたり教鞭をとられました。

山崎先生は、昭和37年4月から母校に奉職され、その間、茶道部、華道部などでも指導にあたりました。

お二人の先生方のこれからの人生に幸多いことを、同窓生一同心よりお祈りいたします。



白井将一先生



山崎泰助先生



同窓会入会式

表彰風景

高田会長より
藍川君へ

母校校門に
大時計



大時計完成へ

—62・63年度生卒業生—

62・63年度の卒業生の記念品である大時計が、この2月に完成しました。

高さが7mもある大時計です。朝夕に母校に学ぶ後輩たちの目にとまるでしょう。

総会風景

1期生の紹介

卒業記念品一覧

年度	品名	年度	品名	年度	品名
35	さくら20本、絵画7点	45	塑像(基金) 思索の像	56	テント 4張
36	〃	46	塑像(基金) 自由の像	57	テント 4張
37	野外ステージバックスクリーン 照明および放送施設	47	塑像(基金) 〃	58	テント 3張
		48	塑像(基金) 〃	59	デジタル式大時計1基
38	〃	49	塑像(基金) 〃	60	壁掛時計 110個
39	鏡	50	時計	61	姿見
40	鏡	51	時計	62	大時計(基金)
41	8号館講堂ステージバック幕	52	時計	63	大時計(基金)
42	塑像(基金) 希望の像	53	テント 4張	元	絵画(基金)
43	塑像(基金) 〃	54	テント 4張	2	絵画(基金)
44	塑像(基金) 思索の像	55	テント 4張	3	絵画(基金)